

平成 20年度第 7回武石地域協議会 会議次第

平成 20年 10月 29日（水）午後 7時
武石地域自治センター 2階会議室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 協議事項
 - ・ 部会活動の報告について
- 5 その他
- 6 閉 会

地域振興部会 基金活用事業検討資料

担当課	事業	予算額	基金使用条件 可能年度	担当課としての意見
地域振興課	防災グッズの全戸配布	12,000～36,000千円	実施は難しい	全戸を対象とした物品の無償頒布は、市全体の中での均衡を欠く。
〃	水利不便地域へ大型貯水槽の設置	10,000～15,000千円	自治会同意形成後 具体化	60～80トン級 要地元自治会の同意、調整
産業観光課	獣害防止柵の設置(武石全域)		国・県補助対象以外 は地域予算対応	10月末までに自治会長宛依頼したアンケートの結果に基づき実施計画を策定する。 電気柵500～600円／m、防護柵1,300～1,500円／m)
〃	捕獲した鹿等への補助金	10,000円／1頭	一般会計の予算化が困難 な場合は地域予算対応	有害鳥獣協議会の一本化が難しいので21年度より一般会計で予算要求する。
〃	商工団体、農業団体等への補助金補填		商工会補助は合併が不調 の場合検討課題となる	商工会(22年4月合併を控えており丸子との兼ね合いがある)、農業団体(補助金認定農業者のみカットされた。農業後継者補助金(上田200千円、丸子100千円、真田80千円×3団体、武石224千円)農村女性グループ(上田200千円9団体、丸子44千円×2団体、真田10千円×8団体、武石88千円)
〃	スキー場リフト改修工事	300,000千円	23年度までに方針決定	練馬区の指定管理者に対する考え方いかんによる。
〃	雲溪荘改修工事	100,000千円	24年度までに方針決定	3年間の経営健全化計画を立てて、職員一丸となって取り組んでいるところで、状況等を精査する中で今後の方針を決定する。(耐震診断費用2千万円、公共施設の耐震診断は市で緊急性がある施設から順次行っているが、雲溪荘の場合方針が決定しないので診断日は未定)、開発公社の余剰金と併せて検討する。
〃	美しい国スキー場の既存物撤去	15,000千円	未定	国有地のため一般会計で348千円土地賃借料を支払っている。撤去費用に15,000千円かかる為、当面現状のままとする。
〃	堆肥センター(生ごみ処理)改修		未定	近い将来建替えが必要になると思うが、建替えと併せ検討する。
〃	土手等、市有地の草刈整備		実施は難しい	高齢化により必要性は認めるが、地域によっては地域全体で通学路等の草刈を行っている。地域予算は未来永劫あるものではないので、地域は地域全体で守るという協働の精神が大切である。
〃	荒廃農地解消のための大型機械補助		市の補助対象以外 は地域予算対応	市の単独補助事業(4／10)があるが、4地域の公平性等を考慮し予算配分されるため予算がつき難い、5年以内に遊休荒廃地を零にするという国の方針であり国の予算付けを待っている、荒廃地解消に繋がらない、環境整備の観点からも地域予算を検討する必要がある。
建設課	市道・農道の改良舗装		対象としない	一般会計で予算化している。
〃	既存公園等の整備		未定	旧権現保育園の公園整備など、どこに、なにを、どのくらい必要か具体的にする必要がある。
〃	ともしび公園 幼児用遊具の整備		未定	どのような遊具が必要か検討する必要がある。
教育事務所	御柱祭おねり保存のための補助金	30,000千円	地域予算対応	6百万円×5回分、30年分の基金を積み立てたらどうか。 その以降は、その間で対処を検討。(市民生活部会でも要望あり)

市民生活部会 基金活用事業検討資料

担当課	事業	予算額	基金使用条件 可能年度	担当課としての意見
建設課	通学路整備(カラー舗装)	3,800千円	対象としない	上武石沖線 沖信号機から南部中学校入口 H21一般会計で対応可能である。 L=1250m、W=0.5m、A=625m ² 、@6,000円/m ²
健康福祉課	武石健康センターの継続、維持(高齢者福祉)		対象としない	これまでどおり各地域自治センター・保健センターで実施する。
//	診療所の維持、継続		対象としない	別途独自の基金が有り(現在高275,000千円)ある程度の現状維持は可能である。
//	有床診療所の建設	5億円	実施は難しい	10床未満での金額、現診療所を継続・充実をすることが現実的であると思われる。
//	ボランティアコーディネーターの育成、配置		実施は難しい	社協の事務として対応している。(現在ボランティアコーディネーター設置済み) 現体制の周知が必要であり、社協へその旨を要望する。
保育園	保育園自家菜園の確保		対象としない	H20年より小規模(1坪)ながら実施中、ほかに地産地消団体の作業に参加している。
//	保育園補助職員の確保		対象としない	現在も課題である。予算面では一般会計で対応する。
//	保育園庭に遊具を設置	700～1,000千円	本庁担当課の実施が原則、 困難な場合は検討	本庁担当課で予算化を検討、予算化が難しい場合は、地域予算での検討をする。
教育事務所	地元食材を使った自校給食の継続		現状では 対象としない	給食食材の地元産割合は50%を超え、市内最高割合である。全校給食は、学校の方針により現在は実施していない。学校と協議しながら検討したい。
//	遠距離通学者の交通費補助の継続		地域要望を 把握後検討	地域としての考え方次第。 現状との差額分を補助するのか検討して、決定していただければ予算化する。
//	児童館の中学生利用スペースの確保		実施は難しい	現時点では中高生の利用が望めず、利用内容も把握できない。 子育て支援室の利用や、多目的室の有効活用で対処してはどうか。
//	御柱祭おねり保存基金の設立	30,000千円	地域予算対応	6百万円×5回分、30年分の基金でどうか。 その以降は、その間で対処を検討。
//	丸子クリーンセンターの焼却熱利用による温泉プールの建設		実施は難しい	依田窪プール自体も経営が厳しく、既存温水プールのアクアプラザ上田も毎年大きな赤字を出している。丸子には、民間スポーツの施設もある。

武石地域自治センター 地域予算激変緩和事業一覧表

(千円)

N O	項 目	実施内容	激変緩和 実施年度	激変緩和 実施期間	年間見込 事業費	今後8年間 の事業費	備 考
1	うつくしの湯武石住民利用 補助	うつくしの湯割引券による地域優 待 大人1人200円×5枚	平成20年～22年	3年間	2,000	6,000	
2	雲溪荘武石住民利用補助	宿泊 1,000円 日帰り500円	平成20年～22年	3年間	2,000	6,000	
3	雲溪荘武石高齢者利用券	70歳以上 6,000円	平成20年～22年	3年間	3,000	9,000	
4	土地改良事業負担金	頭首工等改修事業負担金 0%	平成20年～27年	8年間	1,000	8,000	
5	土地改良事業負担金	土地改良負担金の軽減 市一般の1/2 7.5%	平成20年～24年	5年間	1,000	5,000	
6	スキーリフト地域優待補助	1日券、回数券、シーズン券の地 域優待 大人3500円を2800円な ど	平成20年～22年	3年間	1,200	3,600	
	計				10,200	37,600	